

障がい者アート活動支援研修会 (9/30)

【ワーク 1 : ウォーミングアップ～良識あるオトナがやらないことをやってみましょう！】



1枚の新聞紙を千切って大きな輪っかを作ります。



新聞紙の輪っかが自分の陣地。陣地から出ないで風船バレー。



アルミホイルでオブジェを作成。皆さん真剣です。



様々な作品が出来上がりました。

【講義：障がいのある人の創作表現について】



るんぴにい美術館の実践をとおして、支援者の寄り添い方について講義。
意思決定支援の面からも創作表現支援について考えました。

【ワーク 2：相互観察と共有・共感】



無言で描くペアが何を感じ、何を思っているのか、じっと観察。ひたすら、書きだす。



観察して書きだした内容を答え合わせ。観察した内容がピッタリと的中して、盛り上がりました。



子どもの頃自己紹介シートを使って、今の自分じゃない、子どもの頃をお互いに紹介しました。



相手の子どもの頃の思い出の風景を紙の上に再現。



完成した「思い出の風景」をお互いにプレゼントしました。



ワーク I で作ったアルミのオブジェもプレゼントし合いました。

【ワーク3：展示について】



縮尺17分の1の額、絵画のミニチュアを高さ2.5mの壁に見立てた用紙に貼り、自分なりの展示を完成させました。



色の濃い額にはどんな絵画を合うか。高さはどのぐらいがよいか。悩みながらの展示作業です。



自分の展示を紹介し合いました。高さを揃えた落ち着いた展示や、上下に配置した動きのある展示など人それぞれ。



るんびにい美術館の展示を交えながら、展示方法の基礎知識について説明を受けました。



グループに分かれて、展示作業。複製絵画と模型の額を環境に合わせて展示しました。



グループの展示テーマや方針を皆さんに説明。あえて、全作品を展示しないグループや上下で作品を並べるグループなど、それぞれ個性的な展示になりました。